

(公財)ふるさと島根定住財団

(しまね県民活動支援センター)

<http://www.teiju.or.jp/>



しまね

いまいまねっと

2013  
12月号

マネジメントセミナー  
お届け!

# その「報告書」や「計画書」

## ”提出して終わり”になっていませんか?

「活動の成果をもっと出したい!」「参加者をもっと増やしたい!」そんな時は、「PDCAサイクル(計画 実行 評価 改善)」によるマネジメントがとても大切。年度末の「報告書」や「計画書」の作成は、もう一度自分たちの活動の原点を見つめ直し、より成果のある活動へと結び付ける絶好の機会であり、支援者や参加者を募る際にも大きな役割を果たします。今回は、それらを作成する時のポイントを学びながら、ふりかえりから計画をどのように行えばよいのか、支援者や参加者をどのように増やしたらいいのかについて、2回に分けて学びます。

2回  
コース

参加無料

NPOマネジメントセミナー

ステップ  
1

支援につながる **報告書のつくり方**

ステップ  
2

夢を形にする **計画書のつくり方**

内容

### [第1回] ステップ1 ふりかえり編「報告書をつくらう!」

- ・講義 「支援者の想いをどのように実現しましたか?」
- ・ワーク 「年間報告(マニュアルレポート)をつくらう」  
県内外で活動する団体の報告書事例も、みんなで見てみます。

### [第2回] ステップ2 プランニング編「計画書をつくらう!」

- ・講義 「共感を集める計画 = 夢を語るプレゼン」
- ・ワーク 「夢への活動計画書(アクションプラン)をつくらう」

日程

第1回 (報告書)

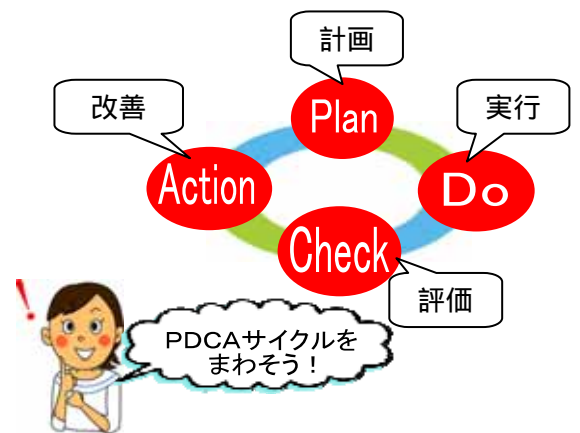
[浜田] 2月5日(水)  
[松江] 2月7日(金)  
10:00 ~ 16:00

第2回 (計画書)

[浜田] 3月4日(火)  
[松江] 3月5日(水)  
10:00 ~ 16:00

会場

[浜田] いわみぶらっと会議室1・2  
[松江] 松江市市民活動センター2階研修室



講師 イノウエヨシオ 氏

(株式会社ファンドレックス ファンドレイジングプロデューサー)

持ち物

前年度の報告書、今年度の計画書、定款等  
ご自身の団体の書類をお持ちください。

お問い合わせ

(公財)ふるさと島根定住財団 地域活動支援課 TEL 0852-28-0690 (担当:原田)



## 助成金情報

公益信託しまね女性ファンド  
期 ~ 1 / 15 (水)

島根県の女性たちが、自主的・主体的に企画実施する活動を支援するための助成です。  
**対** 島根県内の女性たちが中心となって活動している民間の団体やグループで構成員がおおむね10名以上。また半数以上が女性であること。営利法人や行政機関は対象外。**金** 対象経費2/3助成:上限50万円、または対象経費全額助成:上限10万円(詳細は要綱参照)

**問** 公益信託しまね女性ファンド事務局 Tel:0854-84-5514  
<http://www.asuterasu-shimane.or.jp/swc/jigyo/fund/>

(公財)スポーツ安全協会  
平成26年度スポーツ  
普及奨励助成事業  
期 ~ 1 / 24 (金)

不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的に、原則として全国・ブロック単位で開催する各種スポーツ・レクリエーション大会、生涯スポーツの振興に関する研修会・研究協議会等の事業に対する助成です。

**対** 法人格を有するスポーツ・レクリエーション等生涯スポーツ関係団体(営利法人を除く) **金** 各種スポーツ・レクリエーション大会 1事業上限500万円  
生涯スポーツの振興に関する研修会・研究協議会・研究大会等 1事業上限300万円 上記事業にかかわる物品(優勝杯・トロフィー等)の作成実費

**問** (公財)スポーツ安全協会「スポーツ普及奨励助成事業」係  
Tel:03-5510-0022 <http://www.sportsanzen.org/>

山陰中央新報社会福祉事業団  
平成25年度「愛のともしび  
募金」助成事業  
期 ~ 1 / 24 (金)

地域の福祉促進を願って毎年展開している「歳末助け合い愛のともしび募金」をもとに、県内で熱心に活動を行う団体の新たな事業に取り組むために必要な経費や、活動をさらに充実させるために必要な経費を助成するものです。

**対** 地域において福祉活動を行う島根県内の団体(NPO法人、住民組織、住民参加型市民活動団体、福祉団体、ボランティア団体等) **金** 1団体 限度額10万円

**問** 島根県社会福祉協議会 地域福祉部(担当:梅瀬) Tel:0852-32-5955  
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/2998>

明治安田クオリティオブライフ  
文化財団  
平成26年度 地域の伝統文化  
保存維持費用助成  
期 ~ 1 / 31 (金)

地域の民俗芸能や民俗技術の継承、とくに後継者育成のための諸活動に対する助成です。

**対** 地域の民俗芸能の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力している個人または団体、地域の民俗技術の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体 **金** 地域の民俗芸能:1件につき限度額70万円  
地域の民俗技術:1件につき限度額40万円

**問** (公財)明治安田クオリティオブライフ文化財団 Tel:03-3349-6194  
<http://www.meijiyasuda-qol-bunka.or.jp/>

アステラス製薬  
第9回 患者会活動資金助成  
期 ~ 1 / 31 (金)

患者会の育成や人材育成を促す活動を支援し、会の自立的発展を側面的にサポートするための助成です。

**対** 患者・患者家族の会、患者会の連合組織等 **金** 1件につき上限50万円

**問** アステラス製薬株式会社 総務部 スターライトパートナー担当  
Tel:03-3244-5110  
<http://www.astellas.com/jp/csr/social/patient/koubo.html>



## イベント情報

どうしたらいいの?子どもイベント!  
「子どもを『お客さん』にしない  
方法」

日 1 / 25 (土) 13:00~16:00

今、子どものためにやっていることが、本当に子どものためになるように、考えてみよう!講師:林 大介さん(東洋大学社会学部助教)

**場** 松江市民活動センター交流ホール **費** 1,000円(保険・資料代含む)

**定** 40名 託児無料(定員10人)要申込み 申込締切:1/18(土)

**問** 特定非営利活動法人しまね子どもセンター

Tel:0854-82-5111 Eメール:kodomo@iwami.or.jp



## 募集情報

雲南インセンティブ・クラブ会員・  
チャレンジショップ出店者募集!

雲南 インセンティブ・クラブは、少子高齢化による人口減からの地域経済、農林業、商工業の衰退、人々の流れの止まりつつある地域に、少しでも人の流れを掘り起こし、地域全体の活性化を図り、地域力を向上することを目指して、各個人独自の考え、想いを形にできるよう、現実的に検討・計画・実行できる力と繋がりをつける活動を行います。只今チャレンジショップの出店者を募集中!

**場** 佐世だんだん工房(雲南市大東町西阿用 876-6)

**費** 雲南インセンティブ・クラブ年会費 10,000円(事務手数料)、チャレンジショップに出店した場合、施設使用毎に売上の20%を施設使用料として頂きます。

**問** Tel:0854-43-4016・080-4267-1170(9時~18時)

Eメール:sasedandanclub@sasedandan8.com(担当:小倉)

アイコンの説明

日 日にち 時 時間 場 場所 定 定員 費 費用 主 主催 期 期日 金 助成金額 対 対象 問 問合せ先

# お知らせ

中国ろうきんNPO寄付システム  中国ろうきん

## 寄付配分先 募集開始！

ふるさと島根定住財団では、中国労働金庫と協働し、中国労働金庫の口座を開設している方からのNPO活動に対する寄付をもとに、NPO法人の活動の基盤づくりを支援するための「NPO寄付システム」を運用しています。

この度、第10回目の募集を下記のとおり実施します。

### 募集内容

今回対象となる活動分野と募集団体数

- ・保険・医療・福祉の増進を図る活動（3団体）
- ・環境の保全を図る活動（1団体）
- ・消費者の保護を図る活動（1団体）
- ・国際協力の活動（1団体）
- ・子どもの健全育成を図る活動（5団体）
- ・学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動（1団体）
- ・まちづくりの推進を図る活動（1団体）
- ・NPO支援（2団体）
- ・地域安全活動の振興を図る活動（1団体）
- ・科学技術の振興を図る活動（1団体）

対象 島根県内のNPO法人

配分金額

1団体につき5万円

(ただし子どもの健全育成分野のみ10万円)

募集締切

2014年1月31日(金)16時必着

お問い合わせ・応募

ふるさと島根定住財団 地域活動支援課(担当:原田)

TEL 0852-28-0690

応募用紙に記入の上、郵送または持込みでご応募ください。

応募用紙はこちらからダウンロードできます

島根いきいき広場(<https://www.shimane-ikiiki.jp/>)

## プレゼンテーションセミナー

「こんな事業がやりたい!」「一緒に活動しましょう!」「資金調達に困っています。支援をお願いします」...  
プレゼンは片思いのラブレター。あなたのラブレターは相手に届いていますか?

今回は、プレゼンを実践して、コツをつかんでいただくためのアドバンス講座。各自でプレゼンしたい事案を持ち寄って、お互いに腕を磨きませんか?



内容

【効果的な伝え方を習得!】

・プレゼンとは(講義) ・伝えたい内容の整理

【プレゼンテーションを実践】

・プレゼン資料の作成 ・プレゼン実践&相互評価  
・プレゼンのコツ(講義)

参加費

無料

対象

プレゼンテーション力をつけたいNPOをはじめ、地域づくり団体およびプレゼンの機会があるすべての方

日程・会場

【江津会場】 1月21日(火)

島根県石中央地域地場産業振興センター

【松江会場】 1月22日(水)

松江市民活動センター202 研修室

時間はいずれも13:30~17:00

持参するもの

パソコン持込み可(なくても結構です)

お問い合わせ

ふるさと島根定住財団 地域活動支援課(担当:内田)

TEL 0852-28-0690

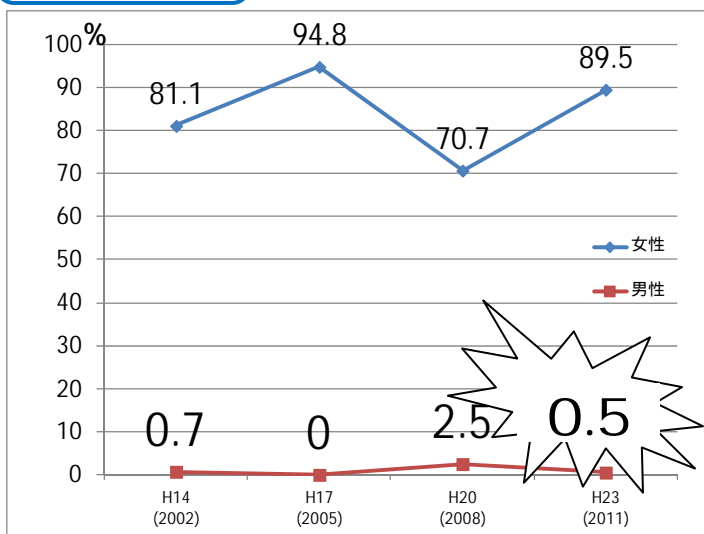
## 数字から見るしまねの課題

Vol.6

0.5%

育児休業制度を利用した男性労働者  
= 1歳6ヶ月未満の子を養育する男性労働者

育児休業取得率と男女共同参画



\*平成20年度調査より、調査対象事業所を「10人以上」から「5人に拡張」

平成23年度調査より、調査対象労働者を「1歳未満の子を養育する労働者」から「1歳6ヶ月未満の子を養育する労働者」に拡大

参考資料: H24年度版しまねの男女共同参画年次報告書

H24年度版しまねの男女共同参画年次報告によると島根県内の労働者の内、男性の「育児休業制度を利用した労働者の割合」は0.5%で、男性の育児休業取得率は依然低いまです。

これでは、女性の家事育児への負担感による就業率の低下のみならず、子どもの健全な成長にも影響し、ひいては社会全体の活力の低下にもつながっていきます。

収入の減少やキャリア形成への不安など、男性の育児休業取得を躊躇させる要素を取り除いて、育児参加を促していくためには、制度を整えることのみならず、企業や地域、社会からの理解や配慮が求められています。

子どもが成長する貴重な時に、両親が安心して出産・育児できる環境づくりは、まさに急務と言えます。

# 島根で 頑張る人

## あきらめずに 積み重ねること

「積み重ねが大事」とは様々な場面でよく言われるが、浜っ子作業所の話を聞いた時、最後に残った言葉がこの「積み重ね」だった。何を重ねてきたのか、重ねてきたことが、どう形に表れてきたのか…。

浜っ子作業所の出発点は、S51年にさかのぼる。始まりは、障がいを持った人たちの親の会(「浜田市手をつなぐ育成会」)が中心となり立ち上げた作業所だった。無認可作業所として活動を続けていたが、H17年の障害者自立支援法改正をきっかけに、作業所を存続、発展させるため、H19年に育成会の後押しを受けNPO法人として再スタートを切った。組織のあり方を問われ、どこを目指せばよいのか分からなくなることもあった。それでも、設立当初から変わらず抱いていた「主役は利用者みんな。守りたいのは、彼らが笑顔で通い続けることができるこの場所」という想いが、利用者に向き合う姿勢へと導いた。それは、取材中、写真を見せながら一人ひとりの得意なことを細かく話す沖田さんの姿にも表れていた。「彼女は鉛筆を削るのがすごく好きだった。そのことで古紙をシュレッダーにかけクッショ

ンを作る作業を新たに増やしたの」、「彼は細かい作業がとても上手。クッキーづくりは彼に任せている」。今では作業の内容も以前に比べ格段に増えた。得意な部分を得意な人がやる。そのことで達成感を味わいながら楽しく作業ができる。一人ひとりを見つめ続ける姿勢が導きだした結果だ。収益も、年々アップしているという。

浜っ子作業所には、もう一つ重ねてきたことがある。それはNPO法人となった年から毎年続けている作業所主催のフリーマーケットだ。地元のお店の協力も得ながら、お客様として地域の人々を迎える。今年は120人を超えた。今では「今年はいつやるの?」と声がかかり、いつの間にか利用者と地元の人が談笑しながらくつろぐ姿が見られるようになった。

忙しい毎日の中で、利用者一人ひとりと、とことん向き合うことや、毎年大きなイベントをし続けることは容易なことではない。しかし、この地道な積み重ねが地域の人たちの理解を深め、さらには行政やマスコミなど外部の信頼を得ることにもつながっている。少しずつでも、着実に確かな一歩を積み重ねていくことが、活動を長く続けていく秘訣なのだ。(Y)



NPO法人 浜っ子作業所  
所長 沖田 和美 さん

学生の頃に福祉について学び、一度は違う道に進んだが、どこかで「誰かの役に立つ仕事をしたい」という想いを抱いていたころ、知人から浜っ子作業所のことを聞き、H15年に職員となる。H17年に所長となり、H19年には仲間と悩みながらもNPO法人として新たなスタートを切り現在に至る。

## 団体の今までの主な活動

知的障がい者の地域での「あたり前の生活」を実現させたいという思いで日々活動を続ける。工業部品のバリ取りやタオルたたみ、箱折、アルミ缶回収、浜っ子クッキーの製造や、年間約20箇所のイベントに出店するほか、作業所を会場に地域住民を招いてフリーマーケットを開催している。

## スタッフ後記

いよいよ今年も残すところあとわずかとなりました。年末の忙しいなか、皆さまのようにお過ごしでしょうか。以前ある方から、「10月あたりから自分のこの1年をきちんとふりかえっておくと、来年どんな1年にすべきかが見えてくるよ」と言われたことがあります。日々の生活に追われていると、なかなか難しいかもしれませんが、そんな中でも、やはり大事なことだと実感します。団体の活動においても、ふりかえる機会を持つことは、次の計画を立てる際にはとても重要です。忙しいなかでも、活動や組織のことをふりかえる時間をきちんと取り、来年度の活動に向けて準備をしていきたいですね。(Y)

## お知らせ 「寄付つき商品」で無理なく社会貢献！ 商品開発マーケティングセミナー

日時 2月6日(木) 14:00~16:30  
会場 松江合同庁舎2階大講堂 参加費 無料  
対象者 島根県内企業およびNPO、地域づくり団体等  
お問い合わせ: ふるさと島根定住財団 TEL 0852-28-0690

[H25.11.30 現在]

県内NPO法人数…268  
(内 認定NPO法人数…4、仮認定NPO法人数…2)  
新設NPO法人数…2 (H25.11月分)  
しまね社会貢献基金登録団体数…56  
だんだん認証レベル取得団体数…36 (内 レベル2…24)

松江  
事務局

〒690-0003  
松江市朝日町478-18 松江テルサ3階  
TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692  
E-mail: shimane@teiju.or.jp

石見  
事務所

〒697-0034  
浜田市相生町1391-8 シティパルク浜田2階  
石見産業支援センター「いわみぶらっと」内  
TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630  
E-mail: iwami@teiju.or.jp